

1

次の計算をしましょう。わり算はわり切れるまで計算しましょう。

(1) $0.75 + 0.9$

(2) $8 - 0.5$

(3) $6 + 0.5 \times 2$

(4) $80 - 30 \div 5$

(5) 27×3.4

(6) 90×0.7

(7) 6.5×2.7

(8) $2 \div 5$

(9) $18 \div 0.9$

(10) $4.32 \div 5.4$

※次のページにも、問題があります。

2

次の計算をしましょう。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$

(2) $\frac{3}{5} + \frac{2}{7}$

(3) $1\frac{1}{6} + \frac{2}{5}$

(4) $\frac{5}{6} - \frac{2}{3}$

(5) $\frac{5}{9} - \frac{1}{4}$

(6) $1\frac{1}{6} - \frac{1}{4}$

(7) $\frac{2}{9} \times 4$

(8) $\frac{5}{6} \times 3$

(9) $\frac{3}{8} \div 2$

(10) $\frac{4}{5} \div 8$

20問中

1 次の計算をしましょう。わり算はわり切れるまで計算しましょう。

(1) $0.75 + 0.9$

$$\begin{array}{r} 0.75 \\ + 0.9 \\ \hline 1.65 \end{array}$$

1.65

小数のたし算・ひき算は、小数点の位置に気を付けて、位をそろえて計算します。

(2) $8 - 0.5$

$$\begin{array}{r} 8.0 \\ - 0.5 \\ \hline 7.5 \end{array}$$

7.5

(3) $6 + 0.5 \times 2 = 6 + 1 = 7$

7

(4) $80 - 30 \div 5 = 80 - 6 = 74$

74

<計算の順序>
 ① 式は、ふつう、左から順に計算します。
 ② () があるときは、() の中を先に計算します。
 ③ +、-、×、÷ がまじった式では、かけ算やわり算を先に計算します。

(5) 27×3.4

$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 3.4 \\ \hline 108 \\ 81 \\ \hline 91.8 \end{array}$$

91.8

(6) 90×0.7

$$\begin{array}{r} 90 \\ \times 0.7 \\ \hline 63.0 \end{array}$$

63

(7) 6.5×2.7

$$\begin{array}{r} 6.5 \\ \times 2.7 \\ \hline 455 \\ 130 \\ \hline 17.55 \end{array}$$

17.55

積の小数点は、積の小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和になるようにうちます。

(8) $2 \div 5$

$$\begin{array}{r} 0.4 \\ 5 \overline{) 2.0} \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

0.4

(9) $18 \div 0.9$

$$\begin{array}{r} 20 \\ 0.9 \overline{) 18.0} \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$$

20

(10) $4.32 \div 5.4$

$$\begin{array}{r} 0.8 \\ 5.4 \overline{) 43.2} \\ \underline{43.2} \\ 0 \end{array}$$

0.8

① わる数が整数になるように、10倍して小数点を右へ移します。
 ② わられる数の小数点も、①で移した分だけ右へ移します。
 ③ 商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうちます。

商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうちます。

2 次の計算をしましょう。

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{2}{5} = \frac{5}{15} + \frac{6}{15}$$

$$= \frac{11}{15}$$

分母のちがう分数のたし算、ひき算は、通分してから計算します。

$$\frac{11}{15}$$

$$(2) \frac{3}{5} + \frac{2}{7} = \frac{21}{35} + \frac{10}{35}$$

$$= \frac{31}{35}$$

$$\frac{31}{35}$$

$$(3) 1\frac{1}{6} + \frac{2}{5} = \frac{35}{30} + \frac{12}{30}$$

$$= \frac{47}{30}$$

【別の解き方】
 $1\frac{1}{6} + \frac{2}{5} = 1\frac{5}{30} + \frac{12}{30}$
 $= 1\frac{17}{30}$

$$\frac{47}{30} \quad (1\frac{17}{30})$$

$$(4) \frac{5}{6} - \frac{2}{3} = \frac{5}{6} - \frac{4}{6}$$

$$= \frac{1}{6}$$

$$\frac{1}{6}$$

$$(5) \frac{5}{9} - \frac{1}{4} = \frac{20}{36} - \frac{9}{36}$$

$$= \frac{11}{36}$$

$$\frac{11}{36}$$

$$(6) 1\frac{1}{6} - \frac{1}{4} = \frac{14}{12} - \frac{3}{12}$$

$$= \frac{11}{12}$$

$$\frac{11}{12}$$

$$(7) \frac{2}{9} \times 4 = \frac{2 \times 4}{9}$$

$$= \frac{8}{9}$$

分数に整数をかける計算では、分母はそのままにして、分子に整数をかけます。

$$\frac{8}{9}$$

$$(8) \frac{5}{6} \times 3 = \frac{5 \times \cancel{3}^1}{\cancel{6}_2}$$

$$= \frac{5}{2}$$

計算の中で約分できるときは、約分してから計算するとかんたんです。

$$\frac{5}{2} \quad (2\frac{1}{2})$$

$$(9) \frac{3}{8} \div 2 = \frac{3}{8 \times 2}$$

$$= \frac{3}{16}$$

分数を整数でわる計算では、分子はそのままにして、分母に整数をかけます。

$$\frac{3}{16}$$

$$(10) \frac{4}{5} \div 8 = \frac{\cancel{4}^1}{5 \times \cancel{8}_2}$$

$$= \frac{1}{10}$$

$$\frac{1}{10}$$

1

次の計算をしましょう。わり算はわり切れるまで計算しましょう。

(1) $4.65 + 0.3$

(2) $9 - 0.8$

(3) 25×1.4

(4) 9.3×0.8

(5) $8 \div 5$

(6) $48.1 \div 1.3$

2

次の計算をしましょう。

(1) $\frac{2}{5} + \frac{1}{2}$

(2) $1\frac{2}{7} - \frac{4}{7}$

(3) $\frac{2}{5} \times 2$

(4) $\frac{2}{9} \times 3$

(5) $\frac{5}{6} \div 7$

(6) $\frac{8}{9} \div 4$

3

AとBの2つのシートがあります。
 右の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

すわっている人数とシートの面積

	人数(人)	面積(m ²)
A	9	5
B	14	7

A	$9 \div 5 = 1.8$
B	$14 \div 7 = 2$

上の計算からどのようなことがわかりますか。次のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 1 m²あたりの人数は1.8人と2人なので、Aのほうがこんでいる。
- イ 1 m²あたりの人数は1.8人と2人なので、Bのほうがこんでいる。
- ウ 1人あたりの面積は1.8 m²と2 m²なので、Aのほうがこんでいる。
- エ 1人あたりの面積は1.8 m²と2 m²なので、Bのほうがこんでいる。

4

5.21 + 0.7を、0.01をもとにした式に表します。
 5.21と0.7は、それぞれ0.01を何個集めた数になりますか。
 下のア、イに入る数を書きましょう。

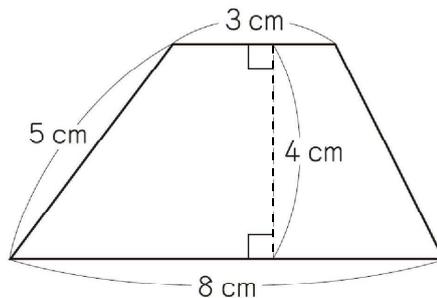
5.21	+	0.7
↓		↓
ア	+	イ

ア

イ

5

次の台形の面積を求める式と答えを書きましょう。



式

答え

17問中

1 次の計算をしましょう。わり算はわり切れるまで計算しましょう。

(1) $4.65 + 0.3$

小数のたし算、ひき算は、小数点の位置に気を付けて、位をそろえて計算します。

4.95

(2) $9 - 0.8$

8.2

(3) 25×1.4

$$\begin{array}{r} 25 \\ \times 1.4 \\ \hline 100 \\ 250 \\ \hline 350 \end{array}$$

35

(4) 9.3×0.8

$$\begin{array}{r} 9.3 \\ \times 0.8 \\ \hline 744 \end{array}$$

積の小数点は、積の小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和になるようにうちます。

7.44

(5) $8 \div 5$

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ 5 \overline{) 8.0} \\ \underline{5} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

8を8.0とみて計算します。

1.6

(6) $48.1 \div 1.3$

$$\begin{array}{r} 37 \\ 1.3 \overline{) 48.1} \\ \underline{39} \\ 91 \\ \underline{91} \\ 0 \end{array}$$

37

2 次の計算をしましょう。

- ① わる数が整数になるように、10倍して小数点を右へ移します。
- ② わられる数の小数点も、①で移した数だけ右へ移します。
- ③ 商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうちます。

(1) $\frac{2}{5} + \frac{1}{2} = \frac{4}{10} + \frac{5}{10}$

分母のちがう分数のたし算、ひき算は、通分してから計算します。

$$= \frac{9}{10}$$

$\frac{9}{10}$

(2) $1\frac{2}{7} - \frac{4}{7} = \frac{9}{7} - \frac{4}{7}$

$$= \frac{5}{7}$$

$\frac{5}{7}$

(3) $\frac{2}{5} \times 2 = \frac{2 \times 2}{5}$

$$= \frac{4}{5}$$

$\frac{4}{5}$

(4) $\frac{2}{9} \times 3 = \frac{2 \times \cancel{3}^1}{\cancel{9}_3}$

$$= \frac{2}{3}$$

$\frac{2}{3}$

分数に整数をかける計算では、分母はそのままにして、分子に整数をかけます。

計算の途中で約分できるときは、約分してから計算するとかんたんです。

(5) $\frac{5}{6} \div 7 = \frac{5}{6 \times 7}$

$$= \frac{5}{42}$$

$\frac{5}{42}$

(6) $\frac{8}{9} \div 4 = \frac{\cancel{8}^2}{9 \times \cancel{4}_1}$

$$= \frac{2}{9}$$

$\frac{2}{9}$

分数を整数でわる計算では、分子はそのままにして、分母に整数をかけます。

3

AとBの2つのシートがあります。
 右の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

すわっている人数とシートの面積

	人数(人)	面積(m ²)
A	9	5
B	14	7

A	$9 \div 5 = 1.8$
B	$14 \div 7 = 2$

上の計算からどのようなことがわかりますか。次のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 1 m²あたりの人数は1.8人と2人なので、Aのほうがこんでいる。
- イ 1 m²あたりの人数は1.8人と2人なので、Bのほうがこんでいる。
- ウ 1人あたりの面積は1.8 m²と2 m²なので、Aのほうがこんでいる。
- エ 1人あたりの面積は1.8 m²と2 m²なので、Bのほうがこんでいる。

イ

4

5.21 + 0.7を、0.01をもとにした式に表します。
 5.21と0.7は、それぞれ0.01を何個集めた数になりますか。
 下のア、イに入る数を書きましょう。

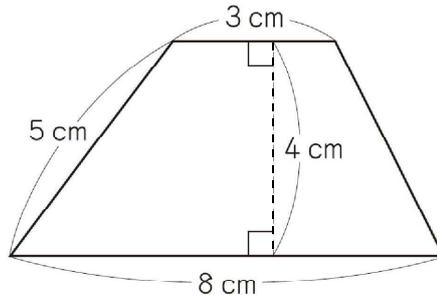
5.21	+	0.7
↓		↓
ア	+	イ

ア 521

イ 70

5

次の台形の面積を求める式と答えを書きましょう。



(台形の面積) = ((上底) + (下底)) × (高さ) ÷ 2

式 $(3 + 8) \times 4 \div 2$

答え 22 cm²